

視察研修報告

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成24年10月13日

1. 序

当該防災協議会の本年度主要事業の一つである「食品の簡易放射線量測定」は東京都の地域の底力再生事業の支援で実施しているが、今般市民が独自で運営している八王子市の食品放射線量測定室の見学及び防災体験の出来る立川防災館へ視察研修会を行ったので報告する。

2. 視察研修場所

- (1) 八王子市民放射能測定室；八王子市八幡町 5-11、八中ビル
- (2) 立川防災館；立川市泉町 1156-1

3. 日程

平成24年10月13日午前 9.00 南街公民館前出発後～
八王子放射線測定室視察（9.54～12.00）⇒立川防災館体験会（13.00～16.00）
の日程で実施致した。

4. 視察状況

当日は本防災協議会の女性班「たんぽぽ」のメンバーを中心として、南街公民館関係者及び東大和第二小学校 PTA の皆様を含め22名の参加があった。



立川防災館にて参加者集合

4.1 八王子放射線測定室視察／検体の放射線量測定（午前9.45～12.00滞在）

当該測定室にて担当員の二宮志郎氏からの食品に対しての放射線についての詳細な説明及び質疑応答及び測定用検体の実際の測定をしている状況を見学した。



試験室のあるビル

東京都の地域の底力再生事業
支援による事業

聴講状況



(1) 試験機器

ベラルーシ ATOMTEX 社製 AT 1 3 2 0 A
測定限界値；セシウム 1 3 7 ; 4.6 Bq/kg
セシウム 1 3 4 ; 4.3 Bq/kg

試験機器本体



(2) 試験サンプル

下記 2 点を持参した。

- (a) 東大和市向原産ジャガイモ；1 Kg
- (b) 東大和市蔵敷産ジャガイモ；1 Kg

(3) 測定結果

下記測定結果は測定後即当該測定室のホームページに記載された。

(ホームページを開けば誰でも閲覧可能です)

測定管理 No	検体名	測定結果. (単位 ; Bq/kg)	
		セシウム 137	セシウム 134
12101301	東大和市向原産ジャガイモ	4.9 以下	4.5 以下
12101302	東大和市蔵敷産ジャガイモ	4.6 以下	4.3 以下

- この結果 2 点の検体とも当該試験機では測定不能の低い値で、不検出の結果となった。

- この上記 2 点の検体は当協議会が 1 0 月 9 日の第三回測定会で使用した検体と同一 Lot で、測定の結果は 1 0 Bq 以下と測定された。
その結果として当該試験機では測定不能と判断⇒即ち不検出と判定したが、この判定が今回の八王子放射能測定室の測定で問題無い事が証明された。

4.2 立川防災館（午後 1.00～4.00 滞在）

東京消防庁立川防災館では、

- 東日本大震災状況のビデオ鑑賞
改めて同震災の大きさとその被害の大きさを痛感した。
- AED を主体として救急救命訓練
このような訓練は常に定期的実施する必要性を感じた。
- 起震機による地震体験
震度 7 の揺れの大きさを体験したが、我が家の家具の耐震の備えについて再度チェックの必要性を感じた。

(1) AED の操作及び救急救命訓練



(2) 地震体験訓練 地震発生の待ちの状況



地震終了後のガス／ブレーカのチェック



5. 結び

八王子市民放射能測定室では市民の力で食品の含有放射線量の測定とその結果をホームページで公開管理して、地域での情報の共有化を図っている事は極めて意義のある事を痛感した。

又我々の現在行っている事業も簡易的な測定であるが基本的には測定出来る範囲内ではその目的を十分に発揮している数字が出ている事が解かった。

立川防災館では充実した設備の中での訓練及び体験は当該協議会の今後の訓練の中に生かして行きたいと思います。

以上

放射線講習会

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成24年10月27日

東京都の地域の底力再生事業の支援による「食品の放射線量測定」事業支援による
「食品の放射線量測定」に関して、今般板橋志保先生をお迎えして第二回目の講演会を
開催しました所、当日は15名の皆様に参加して戴き、今回は放射能汚染「食品・環境～放
射能に負けない暮らし方のご講義をして戴きました。



講演中の板橋先生



参加して戴いた皆様

講演に使用した資料の表紙

南街・桜ヶ丘地域防災協議会
放射能 講習会
2. 放射能汚染
～食品、環境
放射能に負けない暮らし方
高木学校 出前講師(日野市在住)
板橋 志保

今日の話
(1)数字の見方。規制値？
(2)食品汚染。汚染の現状、調査結果
(3)環境汚染。農地、海
(4)対策？どうしたらよいか。

◎ 今後の日程

11月13日

第四回目の食品の簡易放射能測定

「東京都地域の底力再生事業よりの支援事業」

第四回食品の放射線量簡易測定結果報告

南街・桜が丘地域防災協議会本部

平成24年11月13日

1. 序

11月13日に第四回測定会を開催したが、今回の検体は福島、茨城、新潟及び三重のお米の含有放射線量の測定を行いました。

- (1) 三重県熊野産23年度白米
 - (2) 三重県熊野産24年度白米
 - (3) 茨城県産白米
 - (4) 福島県白川郡塙町産23年度白米
 - (5) 福島県白河市根田産23年度玄米
 - (6) 新潟県上越市産23年度白米
- の6種類を用意しました。

2. 食品の含有放射線量測定結果

2.1 測定機材

HORIBA 製の

- 環境放射線モニタ PA-1100Radi
 - 放射線簡易測定キット PA-K (鉛板 0.3mmの遮蔽あり)
- を使用しての簡易放射線量の測定を行いました。

2.2 被測定試料

- バックグラウンド試料 ; 水道水
- お米6種類 ; 本紙1(1)~1(6)項によります。

2.3 測定場所

南街自治会集会所

2.4 その他測定環境条件

2.5 項の測定データシートに示す通りです。

2.5 測定データ

詳細な測定方法、環境及び放射線量値の詳細はそれぞれのデータシートを確認して下さい。

2.5.1 PA-K での測定データ

- (1) シート番号 A ; 環境バックグラウンド測定 (水道水)
- (2) シート番号 B1 ; 三重県熊野産23年度白米
- (3) シート番号 B2 ; 三重県熊野産24年度白米
- (4) シート番号 B3 ; 茨城県産白米
- (5) シート番号 B4 ; 福島県白川郡塙町産23年度白米
- (6) シート番号 B5 ; 福島県白河市根田産23年度玄米
- (7) シート番号 B5 ; 新潟県上越市産23年度白米

2.6 測定結果

2.6.1 環境バックグラウンド

容器は鉛板 0.3mm (蓋/底は 0.5mm) で覆った。
測定結果は $0.03825 \mu\text{Sv/h}$ であった。

2.6.2 ジャガイモの測定

- (1) 今回の測定のもくろみ
福島県及びその他の地方の23年度及び本年生産のお米の放射線量の比較を行う。
- (2) 測定結果
測定の結果、
今回測定した試料では地域での放射線量の差は殆どない事が判明しました。

測定値

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| (a) シート番号 A ; 環境バックグラウンド測定 (水道水) ; | 0.03825 μ S/h |
| (b) シート番号 B1 ; 三重県熊野産 23 年度白米 ; | -0.00594 μ S/h |
| (c) シート番号 B2 ; 三重県熊野産 24 年度白米 ; | -0.00110 μ S/h |
| (d) シート番号 B3 ; 茨城県産白米 ; | -0.00127 μ S/h |
| (e) シート番号 B4 ; 福島県白川郡塙町産 23 年度白米 ; | -0.00294 μ S/h |
| (f) シート番号 B5 ; 福島県白河市根田産 23 年度玄米 ; | -0.00040 μ S/h |
| (g) シート番号 B6 ; 新潟県上越市産 23 年度白米 ; | -0.00502 μ S/h |

- (3) 測定結果の解析
- (a) データは全てマイナス (－) の値となった
今回は全ての測定でマイナスの値が出たがこれは極めて放射線量が低い為と判断します。
- (b) 放射線量の地域差について
上記の通り極めて低いレベルでの測定値差はあるが、現在使用している測定器では測定誤差及び、外部放射線の影響も考慮すると殆ど地域差は無いと言えます。
(無論レベル高い機器を使用すれば詳細な含有放射線量の値が確実に検出できると考えます)

2. 結び

福島のお米は昨年度生産のものであったが、試料の範囲では他の地方に比べて高い値は検出されませんでした。

ただし玄米の放射線量が低く出たのは意外な結果でした。

以上

測定用データシート(A);環境バックグラウンド(試料;水道水) (A)

観測記録

観測者

- 測定日 2012/11/13 町田
- 時間 ; 10時43 分~10時50 分
- 気温 20°C
- 湿度 ; 60 %
- 測定機器 環境製作所Rady PA-1000
- 観測場所:南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

環境バックグラウンド(A) ; 単位: $\mu\text{Sv/h}$				
測定回数	測定時間(Sec)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	最大/最小値	コメント
1	10	0.037		
2	20		0.035	
3	30	0.037		
4	40	0.037		
5	50	0.037		
6	60	0.039		
7	70(1.10)	0.035		
8	80(1.20)	0.037		
9	90(1.30)	0.037		
10	100(1.40)	0.038		
11	110(1.50)	0.037		
12	120(2.00)	0.037		
13	130(2.10)	0.039		
14	140(2.20)	0.038		
15	150(2.30)	0.039		
16	160(2.40)	0.039		
17	170(2.50)	0.038		
18	180(3.00)	0.038		
19	190(3.10)	0.037		
20	200(3.20)	0.039		
21	210(3.30)	0.039		
22	220(3.40)	0.041		
23	230(3.50)	0.041		
24	240(4.00)	0.041		
25	250(4.10)		0.044	
26	260(4.20)	0.044		
27	270(4.30)	0.036		
28	280(4.40)	0.039		
29	290(4.50)	0.039		
30	300(5.00)	0.036		
	平均値	0.03825		

・試料: 水道水0.03825

・容量: 1L

・遮蔽: 周囲を0.3mmのシートで覆う

・環境バックグラウンド: 0.03825 ($\mu\text{Sv/h}$)
(換算表を使用して算出)
上記値を(A)とする

・試料:水道水0.03825

・容量:1L

・遮蔽:周囲を0.3mmのシートで覆う

・環境バックグラウンド:0.03825($\mu\text{Sv/h}$)
(換算表を使用して算出)
上記値を(A)とする

測定用データシート(B1): (試料名:)熊野(三重)23年度白米
(B1)

観測記録

観測者

- 測定日 2012/11/13 町田
- 時間 : 10時52分～10時57分
- 気温 20℃
- 湿度 : 60%
- 測定機器 堀場製作所Rady PA-1000
- 観測場所: 南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

測定回数	測定時間(Sec)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	最大/最小値	コメント
1	10	0.038		
2	20	0.037		
3	30	0.033		
4	40	0.029		
5	50	0.026		
6	60		0.026	
7	70(1.10)	0.028		
8	80(1.20)	0.028		
9	90(1.30)	0.028		
10	100(1.40)	0.028		
11	110(1.50)	0.031		
12	120(2.00)	0.032		
13	130(2.10)	0.032		
14	140(2.20)	0.031		
15	150(2.30)	0.031		
16	160(2.40)	0.031		
17	170(2.50)	0.033		
18	180(3.00)	0.033		
19	190(3.10)	0.033		
20	200(3.20)	0.035		
21	210(3.30)	0.036		
22	220(3.40)		0.041	
23	230(3.50)	0.039		
24	240(4.00)	0.038		
25	250(4.10)	0.037		
26	260(4.20)	0.037		
27	270(4.30)	0.037		
28	280(4.40)	0.036		
29	290(4.50)	0.036		
30	300(5.00)	0.035		
(a)	平均値	0.03314		

バックグラウンド試料(A): 水道水 0.03825 $\mu\text{Sv/h}$

上記の値を(A)とする

容量: 1L

遮蔽: 0.3mmの鉛板遮蔽

(a) 被測定試料の放射線量 0.033143 $\mu\text{Sv/h}$

上記の値を(B)とする

(b) 試料1L当たりの放射線量 (B)-(A) $\mu\text{Sv/h}$

-0.00511 $\mu\text{Sv/h}$

(c) 試料1L当たりの質量: 0.86 kg

(d) 試料の比重: 式⇒(c)/1.00

0.86

(e) $\mu\text{Sv/h}$ の補正値: (b)/(d) $\mu\text{Sv/h}$

-0.00594 $\mu\text{Sv/h}$

(f) Bq換算値: 換算表でBq値を算出する。

-0.00594 $\mu\text{Sv/h}$

Bq/Kg

Bq値は低い為検出できず。

測定用データシート(B2) : (試料名 : 熊野(三重)新米 (B2)

観測記録

観測者

- 測定日 2012/11/13 町田
- 時間 : 11時05分~11時10分
- 気温 20℃
- 湿度 : 60%
- 測定機器 経場製作所Rady PA-1000
- 観測場所: 南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

測定回数	測定時間(Sec)	測定値(μ Sv/h)	最大/最小値	コバト
1	10		0.046	
2	20	0.045		
3	30	0.042		
4	40	0.038		
5	50	0.040		
6	60	0.036		
7	70(1.10)	0.032		
8	80(1.20)		0.030	
9	90(1.30)	0.032		
10	100(1.40)	0.033		
11	110(1.50)	0.031		
12	120(2.00)	0.033		
13	130(2.10)	0.032		
14	140(2.20)	0.031		
15	150(2.30)	0.035		
16	160(2.40)	0.035		
17	170(2.50)	0.037		
18	180(3.00)	0.036		
19	190(3.10)	0.041		
20	200(3.20)	0.043		
21	210(3.30)	0.039		
22	220(3.40)	0.041		
23	230(3.50)	0.041		
24	240(4.00)	0.041		
25	250(4.10)	0.036		
26	260(4.20)	0.039		
27	270(4.30)	0.039		
28	280(4.40)	0.039		
29	290(4.50)	0.038		
30	300(5.00)	0.038		
(a)	平均値	0.03725		

バックグラウンド試料(A): 水道水
上記の値を(A)とする

0.03825 μ Sv/h

容量: 1L

遮蔽: 0.3mmの鉛板遮蔽

(a) 被測定試料の放射線量
上記の値を(B)とする

0.03725 μ Sv/h

(b) 試料1L当たりの放射線量 (B)-(A) μ Sv/h

-0.00100 μ Sv/h

(c) 試料1L当たりの質量: 0.91 kg

(d) 試料の比重: 式=(c)/1.00

0.91

(e) μ Sv/hの補正值: (b)/(d) μ Sv/h

-0.00110 μ Sv/h

上記の値を(B)とする

(f) Bq換算値: 換算表でBq値を算出する。

-0.00110 μ Sv/h

Bq/Kg

値がマイナスであるがBq値は低い為
検出できず

測定用データシート(B3);(試料名;茨城白米)

(B3)

観測記録

観測者

- 測定日 2012/11/13 町田
- 時間 ;11時14分~11時19分
- 気温 20℃
- 湿度 ;60%
- 測定機器 堀場製作所Rady PA-1000
- 観測場所;南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

測定回数	測定時間(Sec)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	最大/最少	コメント
1	10	0.037		
2	20	0.039		
3	30	0.040		
4	40	0.042		
5	50	0.039		
6	60	0.039		
7	70(1.10)	0.040		
8	80(1.20)	0.035		
9	90(1.30)	0.034		
10	100(1.40)		0.031	
11	110(1.50)	0.032		
12	120(2.00)	0.034		
13	130(2.10)	0.033		
14	140(2.20)	0.032		
15	150(2.30)	0.032		
16	160(2.40)	0.035		
17	170(2.50)	0.034		
18	180(3.00)	0.032		
19	190(3.10)	0.035		
20	200(3.20)	0.039		
21	210(3.30)	0.040		
22	220(3.40)	0.039		
23	230(3.50)	0.041		
24	240(4.00)		0.043	
25	250(4.10)	0.043		
26	260(4.20)	0.041		
27	270(4.30)	0.040		
28	280(4.40)	0.039		
29	290(4.50)	0.037		
30	300(5.00)	0.036		
(a)	平均値	0.03711		

バックグラウンド試料(A);水道水 0.03825 $\mu\text{Sv/h}$
 上記の値を(A)とする

容量:1L

遮蔽:0.3mmの鉛板遮蔽

(a) 被測定試料の放射線量 0.037107 $\mu\text{Sv/h}$
 上記の値を(B)とする

(b) 試料1L当たりの放射線量 (B)-(A) $\mu\text{Sv/h}$
-0.00114 $\mu\text{Sv/h}$

(C) 試料1L当たりの質量: 0.9 kg

(d) 試料の比重: 式 $\Rightarrow$ (c)/1.00
0.9

(e) $\mu\text{Sv/h}$ の補正值: (b)/(d) $\mu\text{Sv/h}$
-0.00127 $\mu\text{Sv/h}$
 上記の値を(B)とする

(f) Bq換算値;換算表でBq値を算出する。
-0.00127 $\mu\text{Sv/h}$
Bq/Kg

値がマイナスであるがBq値は低い為
検出できず

測定用データシート(B4);(試料名;)福島東白川郡塙町23年度白米
(B4)

観測記録

観測者

- 測定日 2012/11/13 町田 ● 時間 :11時21分~11時26分
- 気温 20℃ ● 湿度 :60%
- 測定機器 堀場製作所Rady PA-1000 ● 観測場所:南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

測定回数	測定時間(Sec)	測定値(μ Sv/h)	最大/最少	コメント
1	10	0.031		
2	20		0.030	
3	30	0.030		
4	40	0.031		
5	50	0.032		
6	60	0.035		
7	70(1.10)	0.036		
8	80(1.20)	0.039		
9	90(1.30)	0.040		
10	100(1.40)	0.039		
11	110(1.50)	0.036		
12	120(2.00)	0.035		
13	130(2.10)	0.036		
14	140(2.20)	0.034		
15	150(2.30)	0.035		
16	160(2.40)	0.035		
17	170(2.50)	0.037		
18	180(3.00)	0.037		
19	190(3.10)	0.035		
20	200(3.20)	0.035		
21	210(3.30)	0.036		
22	220(3.40)	0.033		
23	230(3.50)	0.035		
24	240(4.00)	0.037		
25	250(4.10)	0.039		
26	260(4.20)	0.040		
27	270(4.30)	0.040		
28	280(4.40)		0.041	
29	290(4.50)	0.041		
30	300(5.00)	0.040		
(a)	平均値	0.03604		

バックグラウンド試料(A):水道水 0.03825 μ Sv/h
上記の値を(A)とする

容量:1L

遮蔽:0.3mmの鉛板遮蔽

(a) 被測定試料の放射線量 0.036036 μ Sv/h
上記の値を(B)とする

(b) 試料1L当たりの放射線量 (B)-(A) μ Sv/h
-0.00221 μ Sv/h

(c) 試料1L当たりの質量: 0.89 kg

(d) 試料の比重: 式⇒(c)/1.00
0.89

(e) μ Sv/hの補正值: (b)/(d) μ Sv/h
-0.00249 μ Sv/h
上記の値を(B)とする

(f) Bq換算値:換算表でBq値を算出する。
-0.00249 μ Sv/h
 Bq/Kg

値がマイナスであるがBq値は低い為
検出できず

測定用データシート(B5); (試料名;) 福島白河市根田23年度玄米 (B5)

観測記録

観測者

- 測定日 2012/11/13 町田 ● 時間 :11時28分~11時33分
- 気温 20℃ ● 湿度 :60%
- 測定機器 堀場製作所Rady PA-1000 ● 観測場所:南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

測定回数	測定時間(Sec)	測定値(μ Sv/h)	最大/最少	コメント
1	10	0.037		
2	20	0.039		
3	30	0.039		
4	40	0.039		
5	50	0.035		
6	60	0.035		
7	70(1.10)	0.037		
8	80(1.20)	0.034		
9	90(1.30)	0.035		
10	100(1.40)	0.038		
11	110(1.50)	0.039		
12	120(2.00)	0.037		
13	130(2.10)	0.035		
14	140(2.20)	0.038		
15	150(2.30)	0.037		
16	160(2.40)	0.035		
17	170(2.50)		0.032	
18	180(3.00)	0.037		
19	190(3.10)	0.039		
20	200(3.20)	0.038		
21	210(3.30)	0.039		
22	220(3.40)	0.040		
23	230(3.50)		0.043	
24	240(4.00)	0.043		
25	250(4.10)	0.041		
26	260(4.20)	0.040		
27	270(4.30)	0.040		
28	280(4.40)	0.038		
29	290(4.50)	0.040		
30	300(5.00)	0.037		
(a)	平均値	0.03789		

バックグラウンド試料(A):水道水 0.03825 μ Sv/h
上記の値を(A)とする

容量:1L

遮蔽:0.3mmの鉛板遮蔽

(a) 被測定試料の放射線量 0.037893 μ Sv/h
上記の値を(B)とする

(b) 試料1L当たりの放射線量 (B)-(A) μ Sv/h
-0.00036 μ Sv/h

(c) 試料1L当たりの質量; 0.9 kg

(d) 試料の比重; 式⇒(c)/1.00
0.9

(e) μ Sv/hの補正值; (b)/(d) μ Sv/h
-0.00040 μ Sv/h
上記の値を(B)とする

(f) Bq換算値;換算表でBq値を算出する。
-0.00040 μ Sv/h
Bq/Kg

値がマイナスであるがBq値は低い為
検出できず

測定用データシート(B6); (試料名;新潟県上越市23年度白米)
(B6)

観測記録

観測者

- 測定日 2012/11/13 町田
- 時間 :11時35分~11時40分
- 気温 20℃
- 湿度 :60%
- 測定機器 堀場製作所Rady PA-1000
- 観測場所:南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

測定回数	測定時間(Sec)	測定値(μ Sv/h)	最大/最少	コメント
1	10	0.032		
2	20	0.032		
3	30	0.026		
4	40		0.026	
5	50	0.026		
6	60	0.029		
7	70(1.10)	0.029		
8	80(1.20)	0.029		
9	90(1.30)	0.033		
10	100(1.40)	0.033		
11	110(1.50)	0.034		
12	120(2.00)	0.033		
13	130(2.10)	0.035		
14	140(2.20)	0.033		
15	150(2.30)	0.032		
16	160(2.40)	0.035		
17	170(2.50)	0.034		
18	180(3.00)	0.037		
19	190(3.10)	0.039		
20	200(3.20)	0.040		
21	210(3.30)	0.040		
22	220(3.40)	0.039		
23	230(3.50)		0.041	
24	240(4.00)	0.039		
25	250(4.10)	0.037		
26	260(4.20)	0.037		
27	270(4.30)	0.035		
28	280(4.40)	0.034		
29	290(4.50)	0.032		
30	300(5.00)	0.032		
(a)	平均値	0.03379		

バックグラウンド試料(A):水道水 0.03825 μ Sv/h
 上記の値を(A)とする

容量:1L

遮蔽:0.3mmの鉛板遮蔽

(a) 被測定試料の放射線量 0.033786 μ Sv/h
 上記の値を(B)とする

(b) 試料1L当たりの放射線量 (B)-(A) μ Sv/h
-0.00446 μ Sv/h

(c) 試料1L当たりの質量: 0.89 kg

(d) 試料の比重: 式 $\Rightarrow$ (c)/1.00
0.89

(e) μ Sv/hの補正值: (b)/(d) μ Sv/h
-0.00502 μ Sv/h
 上記の値を(B)とする

(f) Bq換算値:換算表でBq値を算出する。
-0.00502 μ Sv/h
Bq/Kg

値がマイナスであるがBq値は低い為検出できず

第五回食品の放射線量簡易測定結果報告

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成24年12月11日

1. 序

12月11日に第四回測定会を開催したが、今回の検体は茨城県及び東大和市産の白菜の含有放射線量の測定を行いました。

- (1) 茨城県産
 - (2) 東大和市(高木)産
- の2種類を用意しました。

2. 食品の含有放射線量測定結果

2.1 測定機材

HORIBA 製の

- 環境放射線モニタ PA-1100Radi
 - 放射線簡易測定キット PA-K (鉛板 0.3mmの遮蔽あり)
- を使用しての簡易放射線量の測定を行いました。

2.2 被測定試料

- バックグラウンド試料 ; 水道水
- 白菜2種類 ; 本紙 1(1)～1(2)項によります。

2.3 測定場所

南街自治会集会所

2.4 その他測定環境条件

2.5 項の測定データシートに示す通りです。

2.5 測定データ

詳細な測定方法、環境及び放射線量値の詳細はそれぞれのデータシートを確認して下さい。

2.5.1 PA-K での測定データ

- (1) シート番号 A ; 環境バックグラウンド測定 (水道水)
- (2) シート番号 B1 ; 茨城産白菜
- (3) シート番号 B2 ; 東大和市(高木)産白菜

2.6 測定結果

2.6.1 環境バックグラウンド

容器は鉛板 0.3mm (蓋/底は 0.5mm) で覆った。
測定結果は $0.03964 \mu\text{Sv/h}$ であった。

2.6.2. ジャガイモの測定

- (1) 今回の測定のもくろみ
茨城県及び東大和市産白菜の放射線量の比較を行う。
- (2) 測定結果
測定の結果、
今回測定した試料では地域での放射線量の差は殆どない事が判明しました。

- | | 測定値 |
|------------------------------------|----------------------|
| (a) シート番号 A ; 環境バックグラウンド測定 (水道水) ; | 0.03964 μ S/h |
| (b) シート番号 B1 ; 茨城産白菜 | ; -0.00043 μ S/h |
| (c) シート番号 B2 ; 東大和市(高木)産白菜 | ; 0.00110 μ S/h |

(3) 測定結果の解析

- (a) 茨城県産白菜のデータはマイナス (－) の値となりました。
 今回は全ての測定でマイナスの値が出たがこれは極めて放射線量が低い
 為と判断します。

(b) 放射線量の地域差

上記の通りこの低いレベルでの地域差はあるが、現在使用している
 測定器では測定誤差及び、外部放射線の影響も考慮すると殆ど地域差は
 無いと言えます。

(無論レベル高い機器を使用すれば地域差は確実に検出できると
 考えます)

3. 結び

2 地点のデータと資料数は少ないが双方の含有放射線の地域差は殆ど無いと言え
 ます。

以上

測定用データシート(A);環境バックグラウンド(試料;水道水) (A1)

観測記録

観測者

石塚

- 測定日 2012/12/11 町田
- 時間 : 10時25 分~10時30 分
- 気温 17℃
- 湿度 : 45 %
- 測定機器 堀場製作所Rady PA-1000
- 観測場所;南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

環境バックグラウンド(A);単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定回数	測定時間(Sec)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	最大/最小値	コメント
1	10	0.042		
2	20	0.042		
3	30	0.039		
4	40	0.040		
5	50	0.037		
6	60	0.040		
7	70(1.10)	0.037		
8	80(1.20)	0.036		
9	90(1.30)	0.036		
10	100(1.40)	0.040		
11	110(1.50)	0.046		
12	120(2.00)		0.048	
13	130(2.10)	0.047		
14	140(2.20)	0.042		
15	150(2.30)	0.041		
16	160(2.40)	0.038		
17	170(2.50)	0.037		
18	180(3.00)	0.038		
19	190(3.10)	0.040		
20	200(3.20)	0.039		
21	210(3.30)	0.041		
22	220(3.40)	0.039		
23	230(3.50)	0.039		
24	240(4.00)	0.000	0.035	
25	250(4.10)	0.036		
26	260(4.20)	0.039		
27	270(4.30)	0.042		
28	280(4.40)	0.038		
29	290(4.50)	0.039		
30	300(5.00)	0.040		
	平均値	0.03964		

・試料;水道水

・容量;1L

・遮蔽;周囲を0.3mmのシートで覆う

・環境バックグラウンド;0.03964($\mu\text{Sv/h}$)

(換算表を使用して算出)

上記値を(A)とする

0.03964

定用データシート(B); (試料名;白菜茨城産)
(B11)

観測記録

観測者

- 測定日 2012/12/11 石塚
- 時間 :xx時xx分~xx時xx分
- 気温 19.5℃
- 湿度 : 37%
- 測定機器 環境製作所Rady PA-1000
- 観測場所:南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

測定回数	測定時間(Sec)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	最大/最小値	コメント
1	10	0.038		
2	20	0.036		
3	30	0.040		
4	40	0.040		
5	50	0.039		
6	60	0.039		
7	70(1.10)	0.042		
8	80(1.20)	0.045		
9	90(1.30)	0.045		
10	100(1.40)	0.000	0.046	
11	110(1.50)	0.045		
12	120(2.00)	0.045		
13	130(2.10)	0.043		
14	140(2.20)	0.039		
15	150(2.30)	0.037		
16	160(2.40)	0.037		
17	170(2.50)	0.039		
18	180(3.00)	0.040		
19	190(3.10)	0.039		
20	200(3.20)	0.039		
21	210(3.30)	0.039		
22	220(3.40)	0.039		
23	230(3.50)	0.039		
24	240(4.00)	0.038		
25	250(4.10)	0.038		
26	260(4.20)	0.037		
27	270(4.30)	0.036		
28	280(4.40)	0.033		
29	290(4.50)	0.034		
30	300(5.00)	0.000	0.032	
(a)	平均値	0.03921		

バックグラウンド試料(A):水道水 0.03904 $\mu\text{Sv/h}$

上記の値を(A)とする

容量:1L

遮蔽:0.3mmの鉛板遮蔽

(a) 被測定試料の放射線量 0.039214 $\mu\text{Sv/h}$

上記の値を(B)とする

(b) 試料1L当たりの放射線量 (B)-(A) $\mu\text{Sv/h}$

-0.00043 $\mu\text{Sv/h}$

(c) 試料1L当たりの質量: 1 kg

(d) 試料の比重: 式=(c)/1.00

1

(e) $\mu\text{Sv/h}$ の補正值: (b)/(d) $\mu\text{Sv/h}$

-0.00043 $\mu\text{Sv/h}$

(f) Bq換算値:換算表でBq値を算出する。

-0.00043 $\mu\text{Sv/h}$

Bq/Kg

Bq値は低い為検出できず。

測定用データシート(B): (試料名:白菜;東大和市高木産)
(B12)

観測記録

観測者

- 測定日 2012/12/11 石塚 ● 時間 :10時40分~10時45分
- 気温 19.5℃ ● 湿度 :37%
- 測定機器 堀場製作所Rady PA-1000 ● 観測場所:南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

測定回数	測定時間(Sec)	測定値(μ Sv/h)	最大/最小値	コメント
1	10	0.042		
2	20	0.042		
3	30	0.038		
4	40	0.038		
5	50	0.037		
6	60	0.040		
7	70(1.10)	0.037		
8	80(1.20)	0.037		
9	90(1.30)	0.037		
10	100(1.40)	0.000	0.035	
11	110(1.50)	0.038		
12	120(2.00)	0.039		
13	130(2.10)	0.039		
14	140(2.20)	0.040		
15	150(2.30)	0.041		
16	160(2.40)	0.041		
17	170(2.50)	0.045		
18	180(3.00)	0.000	0.047	
19	190(3.10)	0.046		
20	200(3.20)	0.046		
21	210(3.30)	0.045		
22	220(3.40)	0.042		
23	230(3.50)	0.040		
24	240(4.00)	0.039		
25	250(4.10)	0.039		
26	260(4.20)	0.040		
27	270(4.30)	0.038		
28	280(4.40)	0.045		
29	290(4.50)	0.044		
30	300(5.00)	0.043		
(a)	平均値	0.04064		

バックグラウンド試料(A):水道水 0.03964 μ Sv/h
 上記の値を(A)とする

容量:1L

遮蔽:0.3mmの鉛板遮蔽

(a) 被測定試料の放射線量 0.04064 μ Sv/h
 上記の値を(B)とする

(b) 試料1L当たりの放射線量 (B)-(A) μ Sv/h
0.00100 μ Sv/h

(c) 試料1L当たりの質量: 1 kg

(d) 試料の比重: 式⇒(c)/1.00
1

(e) μ Sv/hの補正値: (b)/(d) μ Sv/h
0.00100 μ Sv/h
 上記の値を(B)とする

(f) Bq換算値:換算表でBq値を算出する。
0.00100 μ Sv/h
Bq/Kg

値がマイナスであるがBq値は低い為検出できず

第六回食品の放射線量簡易測定結果報告

南街・桜が丘地域防災協議会本部

平成25年01月15日

1. 序

今回の検体は東大和市産の大根の含有放射線量の測定を行いました。

- (1) 東大和市；上北台産
の大根を用意しました。

2. 食品の含有放射線量測定結果

2.1 測定機材

HORIBA 製の

- 環境放射線モニタ PA-1100Radi
- 放射線簡易測定キット PA-K（鉛板 0.3mmの遮蔽あり）

を使用しての簡易放射線量の測定を行いました。

2.2 被測定試料

- バックグラウンド試料；水道水
- 大根 1 種類；本紙 1(1)項によります。

2.3 測定場所

南街自治会集会所

2.4 その他測定環境条件

2.5 項の測定データシートに示す通りです。

2.5 測定データ

詳細な測定方法、環境及び放射線量値の詳細はそれぞれのデータシートを確認して下さい。

2.5.1 PA-K での測定データ

- (1) シート番号 A；環境バックグラウンド測定（水道水）
(2) シート番号 B1；東大和市上北台産大根

2.6 測定結果

2.6.1 環境バックグラウンド

容器は鉛板 0.3mm（蓋／底は 0.5mm）で覆いました。

測定結果は 0.03311 μ Sv/h でした。

2.6.2. 大根の測定結果

測定の結果は以下の通りで、問題無い数字が検出されました。

測定値

- (a) シート番号 A；環境バックグラウンド測定（水道水）；0.03311 μ S/h
(b) シート番号 B1；茨城産白菜；0.00407 μ S/h

以上

観測者:野村

2013/1/15

12°C

観測製作所Redy PA-1000

● 時間 : 10時15 分～10時25 分

● 湿度 : 50 %

● 観測場所:南街自治会集会所

値を除く平均で算出

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定値($\mu\text{Sv/h}$)	最大/最小値	コメント
0.033		
0.032		
0.032		
0.032		
0.034		
0.033		
0.036		
0.036		
0.034		
0.031		
0.032		
0.032		
0.028		
0.028		
0.029		
0.031		
0.000	0.028	
0.029		
0.032		
0.034		
0.039		
0.038		
0.000	0.040	
0.038		
0.039		
0.035		
0.035		
0.035		
0.030		
0.030		
0.03311		

・試料:水道水

・容量:1L

・遮蔽:周囲を0.3mmのシートで覆う

・環境バックグラウンド:0.03311($\mu\text{Sv/h}$)
(換算表を使用して算出)

上記値を(A)とする

0.03311

ータシート(B); (試料名; 東大和市上北台; 大根)
(B11)

観測記録

観測者: 井上

● 測定日 2013/1/15

● 時間 : 10時30分~10時40分

● 気温 14℃

● 湿度 : 50%

● 測定機器 堀場製作所Rady PA-1000

● 観測場所: 南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

測定回数	測定時間(Sec)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	最大/最小値	コメント
1	10	0.034		
2	20	0.035		
3	30	0.037		
4	40	0.040		
5	50	0.040		
6	60	0.040		
7	70(1.10)	0.042		
8	80(1.20)	0.040		
9	90(1.30)	0.040		
10	100(1.40)	0.038		
11	110(1.50)	0.038		
12	120(2.00)	0.039		
13	130(2.10)	0.039		
14	140(2.20)	0.043		
15	150(2.30)	0.044		
16	160(2.40)	0.000	0.044	
17	170(2.50)	0.041		
18	180(3.00)	0.040		
19	190(3.10)	0.037		
20	200(3.20)	0.031		
21	210(3.30)	0.000	0.027	
22	220(3.40)	0.030		
23	230(3.50)	0.031		
24	240(4.00)	0.029		
25	250(4.10)	0.032		
26	260(4.20)	0.034		
27	270(4.30)	0.035		
28	280(4.40)	0.036		
29	290(4.50)	0.037		
30	300(5.00)	0.039		
(a)	平均値	0.03718		

バックグラウンド試料(A): 水道水 0.03311 $\mu\text{Sv/h}$

上記の値を(A)とする

容量: 1L

遮蔽: 0.3mmの鉛板遮蔽

(a) 被測定試料の放射線量 0.037179 $\mu\text{Sv/h}$

上記の値を(B)とする

(b) 試料1L当たりの放射線量 (B)-(A) $\mu\text{Sv/h}$

0.00407 $\mu\text{Sv/h}$

(c) 試料1L当たりの質量: 1 kg

(d) 試料の比重: 式⇒(c)/1.00

1

(e) $\mu\text{Sv/h}$ の補正值: (b)/(d) $\mu\text{Sv/h}$

0.00407 $\mu\text{Sv/h}$

(f) Bq換算値: 換算表でBq値を算出する。

0.00407 $\mu\text{Sv/h}$

0.00407 Bq/Kg

Bq値は低い為検出できず。

第七回食品の放射線量簡易測定結果報告

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成25年02月12日

1. 序

今回の検体は東大和市産の人参の含有放射線量の測定を行いました。

- (1) 東大和市；上北台産
の人参を用意しました。

2. 食品の含有放射線量測定結果

2.1 測定機材

HORIBA 製の

- 環境放射線モニタ PA-1100Radi
 - 放射線簡易測定キット PA-K（鉛板 0.3mmの遮蔽あり）
- を使用しての簡易放射線量の測定を行いました。

2.2 被測定試料

- バックグラウンド試料；水道水
- 人参1種類；本紙1(1)項によります。

2.3 測定場所

南街自治会集会所

2.4 その他測定環境条件

2.5 項の測定データシートに示す通りです。

2.5 測定データ

詳細な測定方法、環境及び放射線量値の詳細はそれぞれのデータシートを確認して下さい。

2.5.1 PA-K での測定データ

- (1) シート番号 A；環境バックグラウンド測定（水道水）
- (2) シート番号 B1；東大和市上北台産人参

2.6 測定結果

2.6.1 環境バックグラウンド

容器は鉛板 0.3mm（蓋／底は 0.5mm）で覆いました。
測定結果は $0.03414 \mu\text{Sv/h}$ でした。

2.6.2. 人参の測定結果

測定の結果は以下の通りで、問題無い数字が検出されました。

測定値

- (a) シート番号 A；環境バックグラウンド測定（水道水）； $0.03414 \mu\text{S/h}$
- (b) シート番号 B1；茨城産白菜； $0.00266 \mu\text{S/h}$

第2回目の非常食の試食会

南街・桜が丘地域防災協議会本部

平成25年02月12日

1. 序

本年1月15日に第一回目の非常食の試食会を実施したが、今般第二回目の試食会を女性班の「たんぽぽ」が実施した。非常食は前回同様の業者のご厚意によりサンプルを提供して戴き、その調理方法及び食感について検討会を食品の放射線量測定終了後開催した。

2. 使用サンプル（メーカー；加賀屋）

下記写真の通り

ひじきご飯

わかめご飯

缶詰のパン

乾パン



カレーの具



アルミパックのおかゆ

3. 調理方法

- パンはいずれの無調理で開封後そのまま食べる事が可能
- お米及びカレーの具は熱湯で温める。（電子レンジでも可能）
で特に調理的には極めて簡易である。

4. 食感

いずれも非常食とは思えない程度まで食感は向上していると言える。
パンは乾パン類より食べやすいと言える。又ご飯類もかなり食感が良い。

5. まとめ

非常食の試食会を2回開催したが、現在の非常食は種類も多く食感も向上しており、通常の食事とほぼ同様の感じがします。この為女性班「たんぽぽ」としては来年度も引き続き備蓄食品のあり方について検討を進めて行きたい。

以上

測定用データシート(A);環境バックグラウンド(試料;水道水) (A1)

観測記録

観測者 石塚

- 測定日 2013/2/15 町田 ● 時間 ;10時10 分~10時20 分
- 気温 6°C ● 湿度 ; 45 %
- 測定機器 堀場製作所Rady PA-1000 ● 観測場所;南街自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

環境バックグラウンド(A) ;単位: $\mu\text{Sv/h}$				
測定回数	測定時間(Sec)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	最大/最少値	コメント
1	10	0.030		
2	20	0.039		
3	30	0.033		
4	40	0.033		
5	50	0.034		
6	60	0.034		
7	70(1.10)	0.031		
8	80(1.20)	0.029		
9	90(1.30)	0.000	0.028	
10	100(1.40)	0.031		
11	110(1.50)	0.033		
12	120(2.00)	0.034		
13	130(2.10)	0.036		
14	140(2.20)	0.037		
15	150(2.30)	0.037		
16	160(2.40)	0.033		
17	170(2.50)	0.031		
18	180(3.00)	0.031		
19	190(3.10)	0.029		
20	200(3.20)	0.030		
21	210(3.30)	0.031		
22	220(3.40)	0.031		
23	230(3.50)	0.033		
24	240(4.00)	0.034		
25	250(4.10)	0.037		
26	260(4.20)	0.039		
27	270(4.30)	0.040		
28	280(4.40)	0.044		
29	290(4.50)	0.000	0.044	
30	300(5.00)	0.042		
	平均値	0.03414		

・試料:水道水

・容量:1L

・遮蔽:周囲を0.3mmのシートで覆う

・環境バックグラウンド:0.03414($\mu\text{Sv/h}$)
(換算表を使用して算出)
上記値を(A)とする

測定用データシート(B):(試料名:) (B11)

観測記録

観測者

石塚

人 参: 東大和市上北町

● 測定日 2013/2/15

町田

● 時間 : 10時25分~10時30分

● 気温 10℃

● 湿度 : 40%

● 測定機器 堀場製作所Rady PA-1000

● 観測場所: 南郷自治会集会所

平均値=最小値と最大値を除く平均で算出

測定回数	測定時間(Sec)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	最大/最小値	コメント
1	10	0.038		
2	20	0.037		
3	30	0.035		
4	40	0.035		
5	50	0.035		
6	60	0.034		
7	70(1.10)	0.037		
8	80(1.20)	0.036		
9	90(1.30)	0.038		
10	100(1.40)	0.041		
11	110(1.50)	0.000	0.043	
12	120(2.00)	0.041		
13	130(2.10)	0.042		
14	140(2.20)	0.041		
15	150(2.30)	0.040		
16	160(2.40)	0.034		
17	170(2.50)	0.032		
18	180(3.00)	0.034		
19	190(3.10)	0.032		
20	200(3.20)	0.000	0.028	
21	210(3.30)	0.030		
22	220(3.40)	0.033		
23	230(3.50)	0.033		
24	240(4.00)	0.033		
25	250(4.10)	0.034		
26	260(4.20)	0.040		
27	270(4.30)	0.038		
28	280(4.40)	0.037		
29	290(4.50)	0.037		
30	300(5.00)	0.037		
(a)	平均値	0.03621		

バックグラウンド試料(A): 水道水 0.03414 $\mu\text{Sv/h}$

上記の値を(A)とする

容量: 1L

遮蔽: 0.3mmの鉛板遮蔽

(a) 被測定試料の放射線量 0.03621 $\mu\text{Sv/h}$

上記の値を(B)とする

(b) 試料1L当たりの放射線量 (B)-(A) $\mu\text{Sv/h}$

0.00207 $\mu\text{Sv/h}$

(c) 試料1L当たりの質量: 0.78 kg

(d) 試料の比重: 式 $\Rightarrow$ (c)/1.00

0.78

(e) $\mu\text{Sv/h}$ の補正值: (b)/(d) $\mu\text{Sv/h}$

0.00266 $\mu\text{Sv/h}$

(f) Bq換算値: 換算表でBq値を算出する。

0.00266 $\mu\text{Sv/h}$
Bq/Kg

Bq値は低い為検出できず。